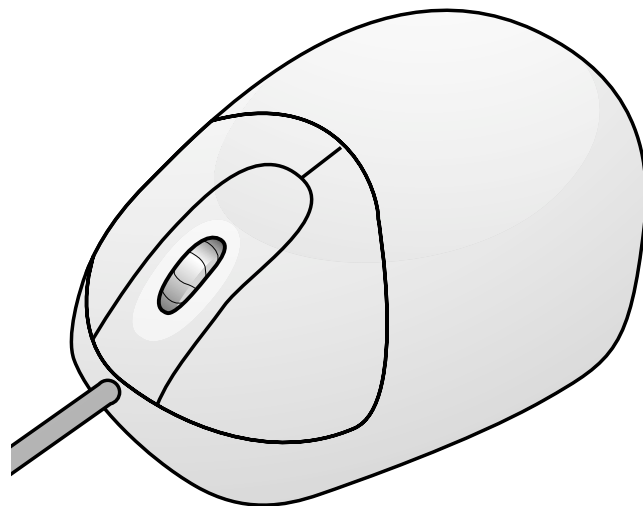




# USBビットマウス 取扱説明書



**USB** **Bits**  
**mouse**

## USBビットマウス

最初に  
ご確認ください。

セット  
内容

マウス本体 .....	1台
ドライバディスク(8cmCD) .....	1枚
取扱説明書 .....	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、  
お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

サンワサプライ株式会社

# 目次

1	警告
2	はじめに (特長、スクロールについて) 必要なハードウェア・ソフトウェア 接続する前に必ずお読みください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ USBピッツマウスの接続における注意</li></ul>
3	・ ポインティングデバイス内蔵ノートパソコンでのご使用の際
4	マウスの接続
5	インストール <ul style="list-style-type: none"><li>・ ドライバソフトのインストール (Windows用)</li><li>・ ドライバソフトのインストール (Mac OS用)</li></ul>
6	7
7	USBピッツマウスの使用方法 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 各部の名称</li><li>・ 左ボタン・右ボタン</li><li>・ ミドルボタン (第3ボタン)</li></ul>
8	各機能の設定 (Windows用)
9	・ Scroll-In-Mouse (スクロールインマウス) プログラムの設定
10	・ 一般 ・ ホイール機能の設定 ・ 全機能設定 ・ Xウィンドウ
11	・ ミドルボタン (第3ボタン) ポップアップメニュー
12	各機能の設定 (Mac OS用)

# 警告

## テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせでお試してください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。

テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。

状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

## 注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

## はじめに

この度は、USBピッツマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は、マウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単に画面スクロールが行えるようになります。また、この商品は、Microsoft IntelliMouse機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、クイックスクロール、オートスクロール、データズームなど)が行えます。

## 必要なハードウェア・ソフトウェア

USBピッツマウスには、下記のハードウェア、またはソフトウェア以上のものをご使用ください。

ハードウェア

各種DOS/Vパソコン、Apple iMac・iBook・Power Mac G3/G4シリーズ  
但し、USBポートを持ち8cmCDが使用できる機種

ソフトウェア

Windows2000、Windows98SE/98及びMacOS8.6以降

## 接続する前に必ずお読みください。

### USBピッツマウスの接続における注意

USBピッツマウスはWindows98において自動認識され使用可能となります。もし、USBピッツマウスが正常に動作しない場合、USBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。

USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

## 接続する前に必ずお読みください。

### ポインティングデバイス内蔵ノートパソコンでのご使用の際

ポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコンでUSBビッツマウスが正常に動作しない場合、パソコン本体の設定ユーティリティで内蔵ポインティングデバイスを使わないように設定してください。

例) NEC PC98-NXノートの場合

コントロールパネル システム デバイスマネージャ マウス

NX PADを開き「使用しない」にする。

スタート プログラム アクセサリ BIOSセットアップ

「NXパッドインターフェース」を使用しないにする。

再起動

尚、詳細な設定については、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

### マウスの接続

Windows98では、システム標準でUSBをサポートしデバイスドライバも組み込まれていますので、添付のCD-ROMを使用してスクロール機能を追加します。

コンピュータの電源を入れ、Windows98を起動させます。

本製品を、コンピュータのUSBポートに接続します。

(通常、コンピュータの背面にあります。)

自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。

あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が立ち上がりますので下記の手順でインストール作業をすすめてください。

次の新しいドライバを検索しています:

USBヒューマン インターフェイス デバイス \_\_\_\_\_ 次へ

検索方法を選択してください。

- 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)

特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する \_\_\_\_\_ 次へ

新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所 \_\_\_\_\_

フロッピーディスクドライブ( F )

CD-ROMドライブ( C )

Microsoft Windows Update( M )

✓ 検索場所の指定( L ) \_\_\_\_\_ 次へ

C:¥WINDOWS¥INF

参照( R )

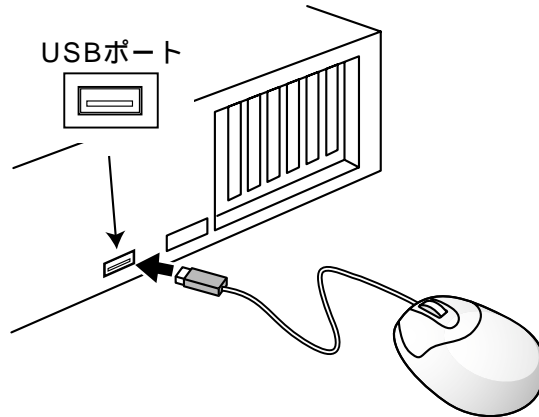
Windows98プリインストールマシン以外の機種でご使用の場合は、CD-ROMドライブにWindows98 CD-ROMを挿入し、CD-ROMドライブ( C )にチェックを付けてください。

## マウスの接続

次のデバイス用のドライバを検索します。:  
USBヒューマン インターフェイスデバイス ———— 次へ

ファイルのコピーが開始されます

USBヒューマン インターフェイス デバイス  
新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。  
————— 完了



## インストール

### ドライバソフトのインストール(Windows用)

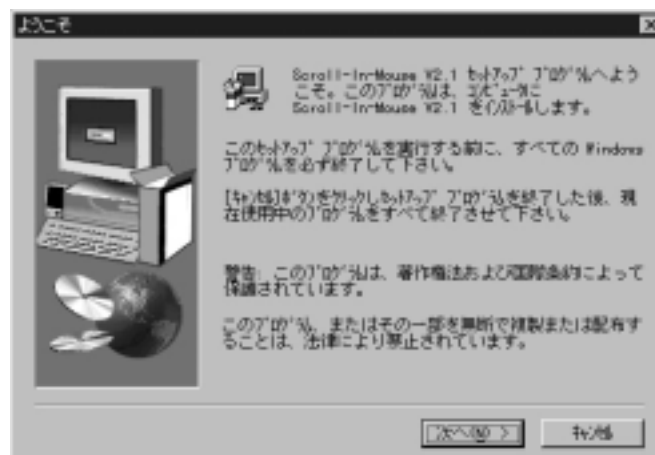
マウスを接続したら、ドライバソフトをインストールしなければなりません。  
下記の指示に従って、インストールしてください。

1. Windows を起動させ、添付のドライバディスクをCD-ROMドライブに入れてください。
2. 「スタート」ボタンを選択し、「ファイル名を指定して実行(R)」を選択してください。
3. D:\¥Pc\_3d¥Setup.exeを入力し、OKを選択してください。  
( CD-ROMドライブがDドライブの場合 )
4. 後は、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

Scroll-In-Mouse V2.1

・ようこそ

Scroll-In-Mouse V2.1セットアッププログラムへようこそ——「次へ(N)」



## インストール

### ・コンポーネントの選択

マウスタイプを選択してください。

Serial Mouse(シリアル接続)

PS/2 Mouse(PS/2接続)

• USB Mouse for Windows(USB接続)

• USB Mouseを選択して -----「次へ(N)」



### ・インストール先の選択

セットアップは次のホルダーにScroll-In-Mouse V2.1をインストールします。

-----「次へ(N)」



### ・プログラムフォルダの選択

プログラムフォルダ(P):

Scroll-In-Mouse V2.1

-----「次へ(N)」

・インストールを開始します。

・セットアップの完了-----「完了」

## インストール

### ドライバソフトのインストール( Mac OS用 )

1. Mac OSを起動させ、添付のドライバディスクをCD-ROMドライブに入れてください。
2. Mouse Driver 1.0.4Eの中にあるInstall Mouse Driverを実行してください。
3. Scroll-In-Mouse V1.0.4 Setup programが実行されインストールが完了します。 Restart(再起動)を選択して、パソコンを再起動すると、Scroll-In-Mouse ド

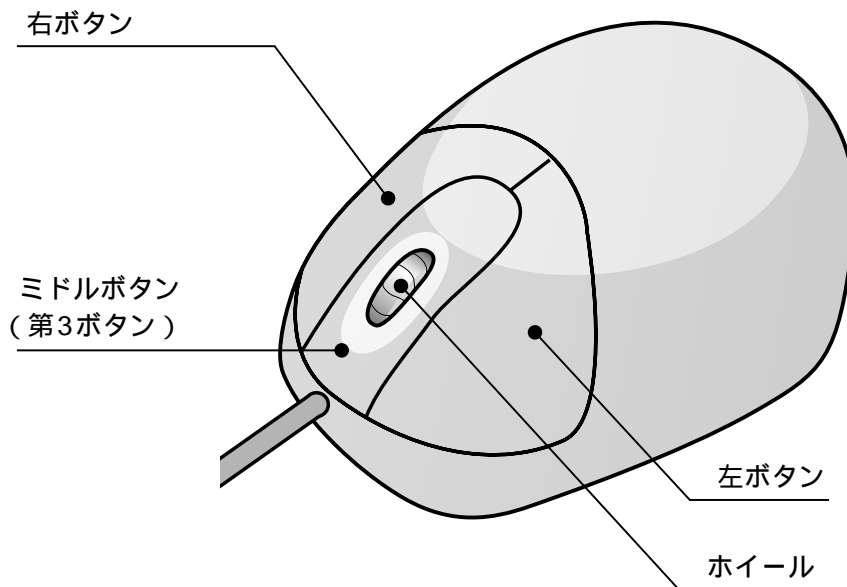


# USBピッツマウスの使用方法

## 各部の名称

本製品にはホイール機能が付いており、ホイールを回転させることにより画面スクロールが簡単に行えます。

ミドルボタン(第3ボタン)に「自動スクロール」、「エクスプローラ」、「電子メール」、「CDプレーヤ」など12種類のショートカット機能を、また右ボタンには13種類のコマンドを割り付けることができますので、大変便利です。



## 左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また、右ボタンはWindows 98/95でのアプリケーションごとに設定されているマウスの働きも行いますし、また13種類のコマンド機能を割り付けることができますので大変便利です。

## ミドルボタン(第3ボタン)


ミドルボタン(第3ボタン)に「自動スクロール」、「エクスプローラ」、「電子メール」、「CDプレーヤ」など12種類のショートカット機能の中からよく使う機能を割り付けることができます。

ミドルボタンを押したまま、実行したいショートカットの上にマウスアイコンを移動し、ボタンを放すだけで使用できます。





## 各機能の設定(Windows用)

### Scroll-In-Mouse(スクロールインマウス)プログラムの設定

「Scroll-In-Mouse」ドライバをインストールするとタスクトレイにマウスアイコン  がインストールされます。このマウスアイコンをダブルクリックするとScroll-In-Mouse(スクロールインマウス)プログラムが立ち上がり、スクロール、ボタン割り付けなどの各種機能を設定できます。



Scroll-In-Mouse(スクロールインマウス)プログラムの右上の  をクリックしないでください。  をクリックした後OKをすると、このプログラムを終了することになり、スクロール機能が使えなくなります。もし誤ってプログラムを終了させた場合は、コンピューターを再起動させればご使用できます。

### 一般

スクロール機能及び右ボタンを設定します。

スクロールバーを持つウィンドウであれば画面スクロールが可能になります。ホイール機能設定には、「ホイール3D」と「ホイールスクロール」があります。全般機能設定では、ミドルボタン(第3ボタン)の「ズームイン」、「WWWブラウザ」、「電子メール」の詳細設定や、右ボタンへのコマンド割付を設定できます。



## 各機能の設定 (Windows用)


### ホイール機能の設定

#### ホイール3D

Microsoft Office 97に準拠したスクロール機能になります。


ホイールを前後に回転させると、画面スクロールが可能になります。

Ctrlキーを押しながらホイールを回転させると、ページサイズの拡大・縮小が可能になります。


また、のボタンでホイールモード、ホイールパラメータの設定ができます。

#### ホイールスクロール

Microsoft Office 97に準拠していないアプリケーションでのスクロールが可能になります。

また、のボタンでスクロール速度の設定ができます。

### 全機能設定

をクリックして設定

ミドルボタン(第3ボタン)を使用する際の「ズームイン」、「WWWブラウザ」、「電子メール」の詳細を設定できます。



#### ズームイン

ミドルボタンでズームイン(拡大表示)の機能を使用する際の詳細を設定できます。



#### WWWブラウザ

ミドルボタンでインターネットブラウザの機能を使用する際、Microsoft Internet ExplorerかNetscape Navigatorのどちらを立ち上げるか選択できます。



#### 電子メール

ミドルボタンでインターネットメーラーの機能を使用する際、Microsoft Outlook ExpressかNetscape Messengerのどちらを立ち上げるか選択できます。



右ボタンに「ダブルクリック」、「ウインドウを閉じる」、「ウインドウを最大化」など13種類のコマンドを割り付けることができます。

### Xウインドウ

Xウインドウ機能を設定すると、マウスカーソルを動かすだけでウインドウの切り替えが簡単に行えます。



### ミドルボタン (第3ボタン) のポップアップメニュー

ミドルボタンを押したまま、実行したいショートカットの上にマウスアイコンを移動し、ボタンを放すだけで「自動スクロール」、「エクスプローラ」、「電子メール」、「CDプレーヤ」などの機能が実行できます。



CDプレーヤ : CD-ROMドライブに入っているCDを再生します。



メディアプレーヤ : コンピュータにMPEGデバイスがインストールされてる場合は、  
CD-ROMドライブに入っているVCDを再生します。



コントロールパネル : コントロールパネルを開きます。



ズームイン : 画面上の画像や文章を拡大します。



自動スクロール : スクロールアイコンから移動したマウスの方向に対して、  
自動的にスクロールします。



シャットダウン : コンピュータをシャットダウンします。



ウインドウを閉じる : 現在使用中のウインドウを閉じます。



WWWブラウザ : コンピュータにインストールされているインターネットブラウザを立ち上げます。



電子メール : コンピュータにインストールされているメールソフトを立ち上げます。



エクスプローラ : ファイルマネージャやWindowsのExplorerを立ち上げます。



計算機 : 電卓プログラムを立ち上げます。

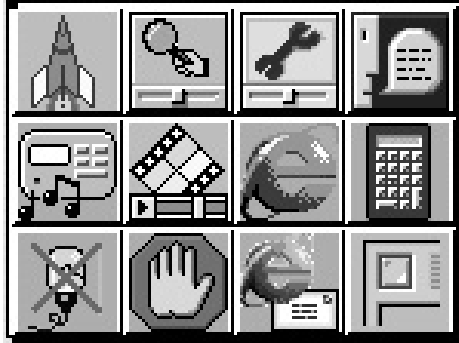


DOSプロンプト : DOSプロンプトを開きます。

## 各機能の設定 (Mac OS用)

### ミドルボタン (第3ボタン) のポップアップメニュー

ミドルボタンをプレス(押しっぱなしに)すると、以下12個のアイコンが表示されます。希望のアイコンを選択すると、その機能やアプリケーションが動作開始します。ふたたびミドルボタンをプレスすると、標準状態に戻ります。



ローンチャー：任意プログラムを起動させます。

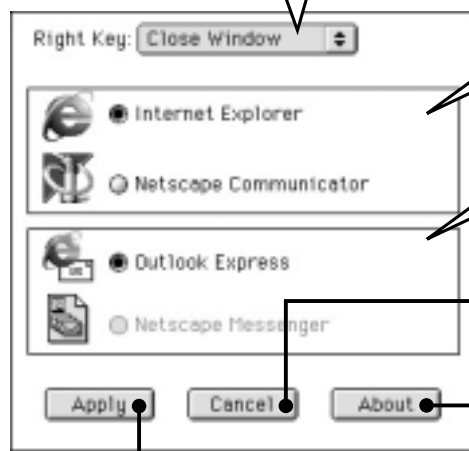


ズームイン：画面一部を任意で拡大表示できます。右ボタンをクリックすると、拡大率が随時変化します。拡大表示領域を指定するフレームを見たい場合、option - command - x を押してください。



環境設定：右ボタンへ機能を割り付けるための環境設定画面が表示されます。画面再上部のポップアップメニューに、9つの機能が表示されます。任意のものを選択してください。

- ・unassigned(未定義):何も定義しません。左ボタンと同じです。
- ・Close Window:ウインドウを閉じます。
- ・Close App:アプリケーションを終了します。
- ・Copy:コピー
- ・Paste:ペースト
- ・Cut:カット
- ・Single-Click:シングルクリック
- ・Double-Click:ダブルクリック
- ・Task List:アプリケーションメニュー(画面右上隅)を開きます。
- ・Control List:アップルメニューを開きます。



**インターネットブラウザ設定**  
WWW ブラウザを設定できます。  
デフォルトは Internet Explorer です。

**電子メールソフト設定**  
電子メールソフトを設定できます。  
デフォルトは Outlook Express です。

キャンセルします。

アプリケーションの>About画面を表示します。

設定を変更しウインドウを閉じます。

## 各機能の設定 (Mac OS用)

---



ヘルプ：ヘルプビューアが起動します。



CDプレーヤ：オーディオCDプレーヤが起動します。



メディアプレーヤ：メディアプレーヤが起動します。( VideoCDとMPEG



WWWブラウザ：あらかじめ設定しているWWWブラウザが起動します。



計算機：計算機が起動します。



システム終了：システムを終了します。



再起動：システムを再起動します。



電子メール：あらかじめ設定している電子メールソフトが起動します。



アプリケーション終了：アクティブになっているアプリケーションを終了します。